平成28年度

第1キッズ　研修発表

よろしく
お願いします

第１キッズで受け入れてる利用児童の特徴

○こだわりが強く、行動の切り替えが難しい

・スケジュールに添って活動することが難しい（１１人）

・感情が極端に不安定になることがある（５人）

○会話、発語に困難がある

・言葉が全く出ない（４人）

・言葉が出にくい（４人）

○身辺介助が必要

・食べるための介助が必要（２人）

・トイレ全介助が必要（4人）

・トイレ誘導およびお尻を拭く介助が必要（4人）

○小学校低学年から高校２年までと年齢の幅が広い

・小学生（１１人）

・中学生（３人）

・高校生（２人）　　※（　　）の数字は平日利用児童１５人のうち

〈キャッチフレーズ〉

Y　ゆたかな

U

K　こころで

O

U　うえをめざして

YUKOU

ゆこう！第１キッズ

〈3つの目標-当初〉

1.基本的な生活習慣を身につける

2. 発語をうながし、会話を育てる

3. 子ども同士で楽しい時間を過ごす

〈今年度取り組んだ4+1の柱〉

1.基本的な生活習慣を身につける

2. 発語をうながし、会話を育てる

3. 子ども同士で楽しい時間を過ごす

4. 身体のバランス感覚を養う

5. 将来の就労に向けた作業ができる
（中高生プログラムでの報告）

１．基本的な生活習慣を身につける

（１～１０）

１.食事を取る

自分で片付ける

２．荷物を決まった場所に置く

３．丁寧な手洗いができる

４．ジャンバーの着脱
靴下、靴を自分でぬげる・はける

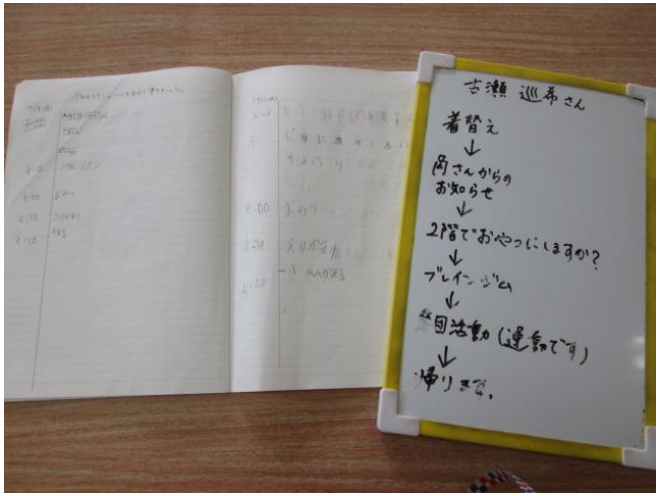
5. トイレの使い方

6. 片付けの習慣を徹底

7. 挨拶をイラストで示す

8. 手話での挨拶

9. スケジュールボードとチップで行動をスムーズに（個人用のできたBOXをつけた）



高学年は個々でスケジュールを管理
（1人ひとりに合わせてホワイトボードやノートを使用）

3階個室にて個別に過ごす時間

iPadは回数
時間をきめて

10. ルーティン作業でリズムをつくる

２．発語をうながし会話を育てる（１～５）

１．絵本の読み聞かせ

２．手話や指文字

３．遊びの中で

4．PECSツールを使った要求や意思表示

5．終わりの会の司会での視覚支援

３．子ども同士で楽しい時間を過ごすことができる

◎集団活動を通してみんなで楽しさを共有する

ままごと遊び

プラレール

テーブルで卓球

※「あそぼ」　「いっしょにさせて」　「いいよ」と
子ども同士で誘い合い遊ぶ場面も増えている

ルールのある遊びを楽しむ機会を設ける

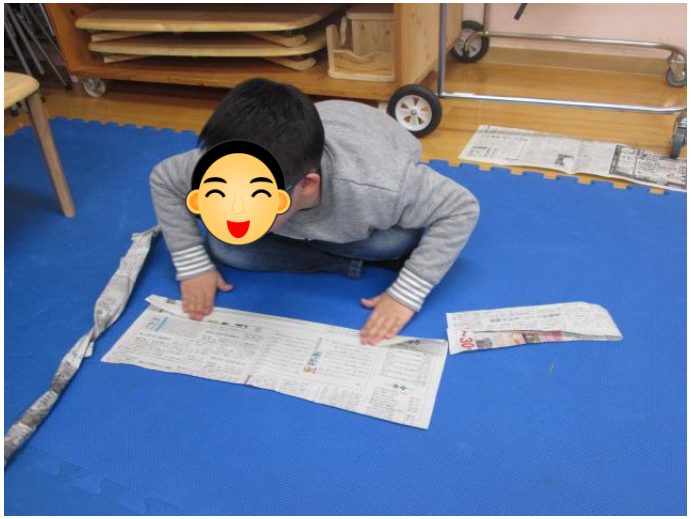
はないちもんめ

しっぽ取りゲーム

※スタッフを介してルールのある遊びを行う機会を増やし楽しさを共有

伝承遊びを通して昔の遊びを体験する

ビュンビュンごまを作って遊ぶ



新聞を細くしてつなげて長さ競争

いちばんながいのだーれ

順番にゲームをしたり、リレー方式で競ったりする

ピンポン玉入れゲーム

ボール運びリレー

※順番を守ったり、同じチームの友だちを応援
みんなでゲームを楽しむ

○その他（お手伝いメニュー）

フロアの雑巾がけ

・タオルをたたむ

洗濯干し

おやつの盛り付け

※毎日のおやつ準備は当番チップを張って
順番に行う

○その他（繰り返し行なって身につけていく活動）

食育・・・同じメニューを繰り返し作っていくことで手順を覚え自主的にできるようになる
手順書を使い役割を決めてみんなで楽しく作る
（カレー・フルーチェ・焼きそば作り）

包丁を使って切る

手を使ってさく（しめじなど）

混ぜる

炒める

創作活動・・・手先を使ったり、工夫したりしながら様々なものを作る
出来ることを増やし、達成感を味わえるように
（貼り絵・壁面装飾作り・描画活動など）

貼り絵　のりをつけて色紙にはる

色鉛筆などをつかって描く

4.身体のバランス感覚を養う

集団活動のメニューの中で『運動』を多く取り入れました

★目的として★

・体幹を鍛える

体幹を鍛えることにより、運動能力を高め、バランス感覚やバランス能力を養い、怪我をしない体づくりをしていく。

・組み体操を出来るようになる

友だちと一緒に活動することにより、相手を思いやる気持ちや達成感を味わう。

また、声を掛け合うことで発語を促していく。

・体力アップ

マット運動を通して体力をつけ、疲れにくい身体作りをしていく。

体幹を鍛えよう

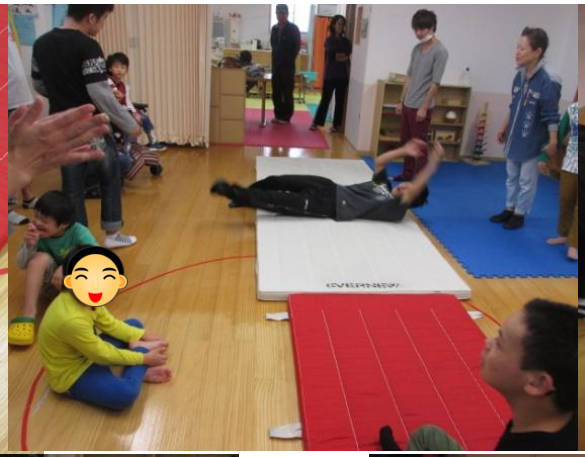
（様々な柔軟体操や体幹ポーズを行う）

・組み体操をしよう

（友だちやスタッフと足を合わせて高く上げよう）

・体力をつけよう

（最初の方はすぐに疲れていた子も繰り返しマット運動を出来るようになってきた）



平均台を歩いたり、飛び石を渡ったり

バランス感覚を鍛えよう

前転が出来るようになったり、側転をしようとしたり・・・

マットの端から端まで転がれたり、台の上から飛べるようになったり・・・

ブレインジム

・集団活動前にブレインジムを行う
・外部講師の方を定期的にお呼びしてブレインジムを教えてもらう

※クロスクロールや手ひねりなど、難しいポーズも1人で出来る子が多くなってきた

運動を通して気づいたこと・今後に向けて

- マット運動を多く行うようになり、少しずつ体力がついてきた。
  (個人差はあり)

- 最初は、みんなの前ですることが苦手だったり、 恥ずかしくて
  なかなかできなかった子も、スタッフとなら出来るようになってきた。
  また、少しの段差からのジャンプができなかった子も出来るように
  なってきた。

- 一人ひとりが出来たことに喜びを感じ、見ている友だちやスタッフ
  で「がんばれ！」「すごいね～」「やった―！」と応援し、褒め合う
  ことで満足感が得られた。次への自信につなげていきたい。

目指せオリンピック！！！

子どもたちの変化

・子ども同士で自然に遊ぶ姿が多くなってきた

・声掛けなしに、おやつ食器の片付けが身についてきた

・言葉がはっきりしてきて、相手に伝わるようになってきた

・自分から進んでお手伝いすることが多くなってきた Good!

・体力作りやブレインジムの成果のおかげか、疲れることもすくなくなり、次の活動にも意欲的に参加できるようになってきた

・少しずつ体幹が鍛えられ、バランス感覚が整ってきた

保護者へのフィードバック

- 毎日の連絡帳の活用
- お迎え時にその日に出来たことを口頭で伝え、共有する
- 毎月の療育通信の配布
- 活動の様子の写真を模造紙に張ったり、パソコンで提示し見てもらう
- お誕生月に1人ひとりにフォトブックを作成しお渡ししています
- 2月のおもてなし会

活動動画をみてもらう

活動写真を模造紙にまとめる

1年間の写真をまとめる

保護者さんをお招きして
H29.2.10（金）におもてなし会を行いました

役割を決め、みんなで行いました

お当番表を提示

名札を付ける

・日頃行っているお手伝いの様子を見てもらう

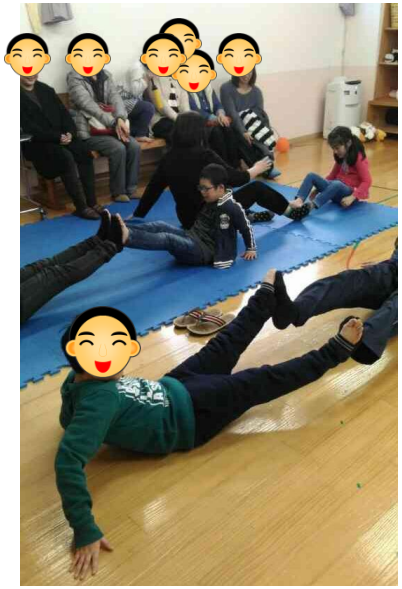
・机を拭く

・お茶を入れる

・おやつをお出しする

・運動の様子も見てもらう

・組み体操



・マット運動

おもてなし会の最後や後日の連絡帳にて、保護者さんより感想をいただきました。

・しっかりと一日の流れがあり（おやつ・集団活動・終わりの会）、その他に自由に遊ぶ時間があり、めりはりのある充実した時間を過ごしているんですね。　（Hさん）

・いつも見ていただいてありがとうございます。（Nさん）

・今日見させてもらって、子どもの成長した姿が見れて良かったです。　（Yさん）

・先日はおもてなし会で子どもたちの様子を見させていただき、ありがとうございました。嬉しそうな姿、成長した姿を見ることができて嬉しく思いました。　（Hさん）

今後も継続しておもてなし会を行っていけたらと思っています！！

保護者の声（アンケート及び連絡帳より）

★送迎時、今日の楽しかった事など、Hとスタッフが一緒に伝えてくれ、H1人では伝えることが出来ないので、本人も毎回嬉しそうにしています。（Mさん）

★ゆうあいに行くと「ただいま」って言うんですね。朝も「ゆうあい」と言ってます（笑）学校ですと伝えても「ゆうあい」と言ってます。　（Tさん）

★ゆうあいさんの写真入りの通信（療育通信）が毎回とても楽しみです。　（Nさん）

★（食育にて）卵割りに手を上げたんですね（笑）家ではなかなかできない（させてない　笑）ので嬉しかったと思います。ありがとうございます。　（Tさん）

★ゆうあいを利用した当初に比べると、だいぶ言葉の数も増えましたが、「文字」が書けるようになれたらな…と思います。（Nさん）

今後の課題

・ゆうあいで「できてきている」取り組みを、ご家庭でも行ってもらうにはどうしたらいいか

・プログラム（活動）の切り換えが難しい子にどのように時間の変化を知らせていくか

・支援機器の活用をどのようにしていくか

・ペクスツールをどのように療育の中で組み込んでいくか

・ご家庭と学校との情報共有をより密にしていくためにはどのようにしたらよいか

・どのように地域交流を増やしていったらよいか

ご清聴ありがとうございました